

セメント試験成績表



太平洋セメント株式会社

2024 年(令和 6 年) 12 月度

種 類 品質		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高 炉 セ メ ン ト B 種 JIS R 5211			
		J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績		
			平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)
密 度	g/cm ³	—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—
比 表 面 積	cm ² /g	2500 以上	3360	53	—	3300 以上	4410	57	—	3000 以上	3850	56	—
凝 結	水 量 %	—	27.5	—	—	—	30.1	—	—	—	29.3	—	—
	始 発 h-min	60min 以上	2-37	—	(1-55)	45min 以上	1-52	—	(1-35)	60min 以上	3-22	—	(2-20)
	終 結 h-min	10h 以下	3-36	—	4-20	10h 以下	2-49	—	3-45	10h 以下	4-46	—	5-35
安 定 性	パ ッ ト 法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧 縮 強 さ N/mm ²	1 d	—	—	—	—	10.0 以上	24.7	1.84	—	—	—	—	—
	3 d	12.5 以上	31.8	1.10	—	20.0 以上	47.2	1.57	—	10.0 以上	22.6	0.96	—
	7 d	22.5 以上	47.9	1.41	—	32.5 以上	58.6	1.45	—	17.5 以上	37.7	1.44	—
	28d	42.5 以上	61.2	1.32	—	47.5 以上	69.2	1.49	—	42.5 以上	62.3	1.89	—
水 和 熱 J/g	7 d	—	337	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28d	—	384	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化 学 成 分 %	酸化マグネシウム	5.0 以下	1.23	—	1.54	5.0 以下	1.40	—	1.83	6.0 以下	3.42	—	3.83
	三 酸 化 硫 黄	3.5 以下	2.08	—	2.35	3.5 以下	3.07	—	3.22	4.0 以下	2.06	—	2.32
	強 熱 減 量	5.0 以下	2.25	—	2.69	5.0 以下	1.37	—	1.58	5.0 以下	1.86	—	2.24
	全 アルカリ	0.75 以下	0.48	—	0.52	0.75 以下	0.46	—	0.54	—	—	—	—
	塩化物イオン	0.035 以下	0.015	—	0.024	0.02 以下	0.007	—	0.011	—	0.015	—	—

備 考

試験方法はJIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203及びJIS R 5204による。
28 d 圧縮強さ及び28 d 水和熱は前月度の値を示す。

全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値
普通ポルトランドセメント 0.56 %
早強ポルトランドセメント 0.55 %

高炉セメントB種
ベースセメントの全アルカリ 0.48 %
高炉スラグの分量 40~45 %

品管者	検査課長	担 当
別所		太田

日本ハイコン株式会社

検査(試験)表の確認
日 付 6 年 12 月 11 日
検 査 者 太田
結 果 合・否
日本ハイコン株式会社

お問い合わせその他のご連絡先

太平洋セメント株式会社 中国支店 技術部

☎730-0811 広島市中区中島町3-25

ニッセイ平和公園ビル 10F

☎ 082-504-8612

コンクリート用膨張材試験成績表

商品名:太平洋エクспан(製品用)

太平洋マテリアル株式会社



区分:膨張材30型

(2024年12月度製造分)

試験項目		JIS A 6202 による規定値	試験値
化学成分	酸化マグネシウム (%)	5.0 以下	0.6 ✓
	強熱減量 (%)	3.0 以下	1.5 ✓
	全アルカリ (%)	0.75 以下	0.19 ✓
	塩化物イオン (%)	0.05 以下	0.014 ✓
物理的性質	比表面積 (cm ² /g)	2000 以上	4140
	1.2mmふるい残分 (%)	0.5 以下	0.0 ✓
	凝結 (h-min)	始発	60min 以上
		終結	10h 以下
	膨張性 (長さ変化率) (%)	材齢 7日	0.025 以上
		材齢28日	- 0.015 以上
	圧縮強さ (N/mm ²)	材齢 3日	12.5 以上
		材齢 7日	22.5 以上
		材齢28日	42.5 以上

◎ 試験方法は、JIS A 6202 による。

◎ 1.2mmふるいは、JIS Z 8801-1に規定する公称目開き1.18mmの網ふるいである。

◎ 材齢28日の膨張性および圧縮強さは、前回製造月の値を示す。

品管者	検査課長	担当
承認	別所	太田

日本ハイコン株式会社

試験項目		平均値
物理的性質	密度 (g/cm ³)	3.14

◎ 密度試験は、JIS R 5201 による。



お問合せ先: 太平洋マテリアル株式会社 営業本部混和材営業部

〒114-0014 東京都北区田端六丁目1番1号 田端ASUKA77-15F TEL:03-5832-5218

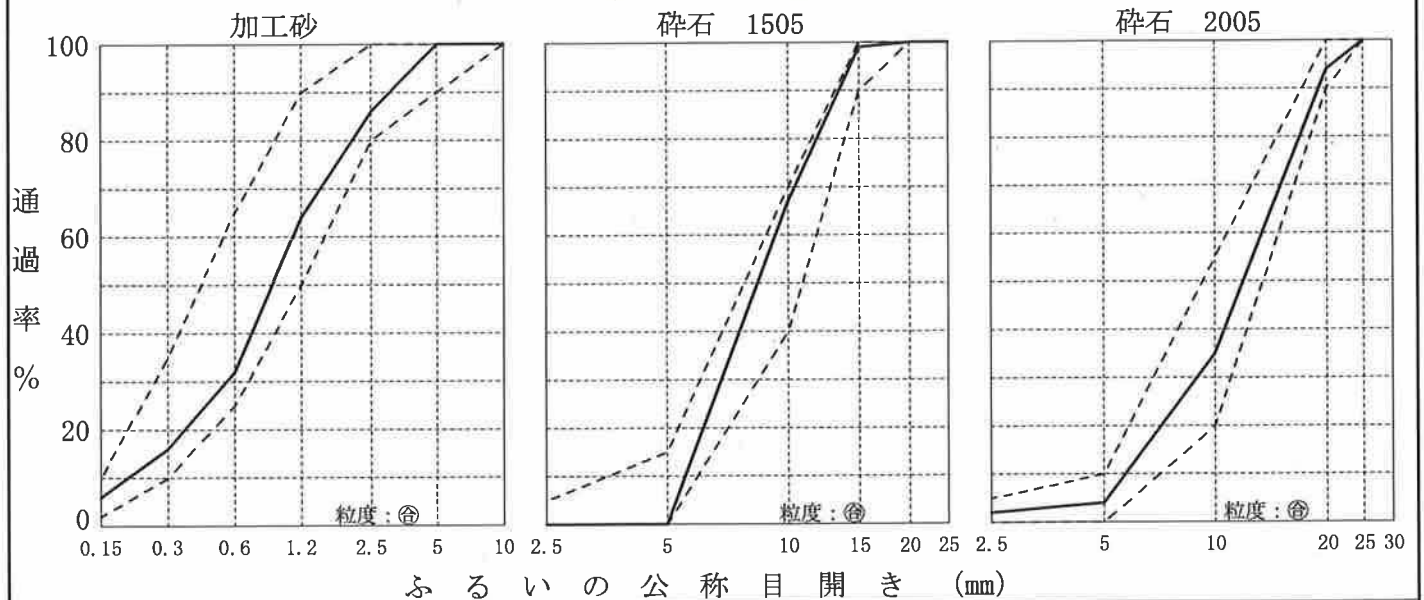
検査(試験)表の確認	
日付	7年1月/0日
検査者	太田
結果	合格・否
日本ハイコン株式会社	

■ 骨 材 試 験 成 績 書 ■

令和 6 年 12 月度

	産地品名	骨材名称				検 印 欄				
骨材①	島根県仁多郡奥出雲町	加工砂				合否判定	所属長	品管者	担 当	
骨材②	広島県三次市布野町	碎石 1505				合 格				
骨材③	岡山県真庭市神代ヘシ谷	碎石 2005								
骨材④										
試験項目		骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験（通過率％）				
最大寸法(mm)		5	15	20		ふるい(mm)	加工砂	碎石 1505	碎石 2005	
表乾密度	(g/cm ³)	2.56	2.73	2.68		150				
絶乾密度	(g/cm ³)	2.52	2.71	2.67		100				
吸水率	(%)	1.52	0.68	0.48		80				
微粒分量	(%)	1.2	0.4	0.4		60				
粘土塊量	(%)	0.00	0.04	0.04		50				
粒形判定実積率	(%)	－	58.7	59.6		40				
有機不純物（標準色よりも）		淡い	－	－		30				
安定性	(%)	2.2	1.1	1.7		25		100	100	
塩化物量	(%)	0.001	－	－		20		100	94	
すりへり減量	(%)	－	10.1	14.9		15		99		
アルカリシリカ反応性		無害	無害	無害		10	100	67	35	
						5	100	0	4	
						2.5	86	0	2	
						1.2	64			
						0.6	32			
						0.3	16			
						0.15	6			
粗粒率							2.96	6.33	6.65	

粒 度 曲 線



備考:

発行No.

497

発行日

2024年12月2日

御中

INSPECTION CERTIFICATE OF NAS SAND
コンクリート用フェロニッケルスラグ骨材試験成績書
(JIS A 5011-2)
(商品名 ナスサンド)

Lot No.

24X28

製造業者 : 日本冶金工業株式会社大江山製造所

製品の呼び名	酸化カルシウム (CaOとして)	酸化マグネシウム (MgOとして)	全硫黄 (Sとして)	全鉄 (FeOとして)	金属鉄 (Feとして)	絶乾密度 g/cm ³	吸水率 %	単位容積質量 kg/L
FNS 1.2 A	4.5	27.8	0.1	6.1	0.5	3.11	0.35	1.82
規定値 FNS1.2 規格 JIS A 5011-2	15.0以下	40.0以下	0.5以下	13.0以下	1.0以下	2.7以上	3.0以下	1.50以上

製品の呼び名	ふるいを通過する質量分率 %					粗粒率 ^{a)}	アルカリシリカ 反応性 膨張率 (%)	微粒分量 % ^{c)}	備考
	5 mm	2.5 mm	1.2 mm	0.6 mm	0.15 mm				
FNS 1.2 A	100	100	97	77	47	1.57 (1.70)	0.016	0.8	
規定値 FNS1.2 規格 JIS A 5011-2	100	95~100	80~100	35~80	15~50	10~30	判定 ^{b)} A 2024年3月分 試験:モルタルバー法	2.0% +3.0% -2.0% (協議値) (許容範囲)	

注 a) 括弧内は、購入契約時に定められた粗粒率を記入する。

b) 判定試験結果による区分をA又はBと記入する。

c) 微粒分量は、購入契約時に定められた値と許容範囲内を規定する。

発行人 責任者

NIPPON YAKIN KOGYO CO., LTD. OHEYAMA PLANT
日本冶金工業株式会社 大江山製造所

Y. Nakayama

Manager of Quality Control
品質管理責任者

上記の通り、この材料は、指定の規格に従って製造され、試験されたものであり、その最新のJIS規格を満足していることを証明致します。










発行番号：第 2 3 C 1 0 8 4 号
発行日：2024年 9月25日

品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験
西日本試験所長 白
山口県山陽小野田市



試験名称	骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）														
依頼者	名称：株式会社サンテック 所在地：島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766-1														
試験項目	膨張率（長さ変化の測定），外観観察														
試料	産地：島根県仁多郡奥出雲町下阿井 種類：加工砂（花崗岩） 採取日：2024年 3月 6日 外観写真： <div></div>														
	記載事項は、依頼者の提出資料による。														
試験方法	JIS A 1146 [骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）] に従った。 なお、セメントの全アルカリは、Na ₂ O=0.27%，K ₂ O=0.38%，Na ₂ Oeq=0.52%である。 また、供試体貯蔵容器底面には水を張り，相対湿度95%以上で貯蔵した。														
試験結果	試験項目	材 齢	2週	4週	8週	13週	26週								
	膨 張 率 (%)	1	0.009	0.010	0.011	0.011	0.013								
		2	0.005	0.007	0.008	0.009	0.011								
		3	0.004	0.006	0.006	0.007	0.009								
		平 均	0.006	0.008	0.008	0.009	0.011								
	外 観 観 察	異状なし													
判 定	無 害 ✓														
試験期間	2024年 3月11日～ 9月25日														
担当者	試験課長 矢 埜 和 彦 松原 竜 馬（主担当） 杉原 大 祐			<div><table><tr><td>承認</td><td>品管者</td><td>検査部長</td><td>担 当</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div>				承認	品管者	検査部長	担 当				
	承認	品管者	検査部長	担 当											
															
試験場所	西日本試験所（山口県山陽小野田市大字山川）			日本ハイコン株式会社											



日本ハイコン株式会社

以上

本試験の結果は、提出された試料（試験体）のみに関するものである。
試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部分のみを複製してはならない。

副本



【認定番号 第53号】

骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）報告書

〒700-0943

岡山県岡山市南区新福一丁目21番37号

一般社団法人 岡山県コンクリート技術センター

TEL:086(264)6374 FAX:086(264)6879

承認署名者 所長 加藤 美千夫



株式会社 マルケイ 殿

試験品目に関する説明【顧客申請事項】

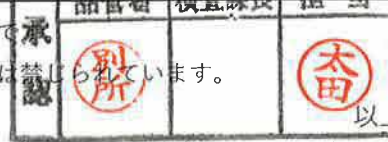
顧客の名称	株式会社 マルケイ
連絡先	岡山県真庭市江川846
試料の種類	砕石 2005
岩石名	硬質砂岩
産地	真庭市神代ヘシ谷地内
採取日	2024年2月1日
採取場所	真庭市神代ヘシ谷地内
備考	-

試験結果【試験所証明事項】

受 付 年 月 日	2024年2月2日					
識 別 番 号	M230217					
試 験 終 了 日	2024年8月7日					
試 験 場 所	一般社団法人岡山県コンクリート技術センター試験室					
試 験 方 法	JIS A 1146:2022					
モルタルの配合	使用材料	セメント	600 g			
		骨 材	1350 g			
		水+NaOH	300 mL			
	使用した普通ポルトランドセメント[一般社団法人セメント協会研究所]の全アルカリ量はNa ₂ O _{eq} =0.52%である。					
湿度95%以上を確保した手段	恒温恒湿槽にて吸取紙による被覆，容器底面の水張りをおこなった。					
試験結果	(1) 供試体の膨張率 %					
		2週	4週	8週	13週	26週
	1	0.006	0.009	0.013	0.016	0.021
	2	0.007	0.010	0.014	0.016	0.022
	3	0.006	0.009	0.011	0.015	0.021
	平均	0.006	0.009	0.013	0.016	0.021
	(2) 供試体の外観観察					
		2週	4週	8週	13週	26週
		異常無し	異常無し	異常無し	異常無し	異常無し
	判 定	無害				
判定基準:3本の平均膨張率が，26週後に0.100%未満の場合は無害とする。						

■本報告書は、顧客が採取し顧客が持ち込んだ試験品目に対する結果を示すもので

■当センターの事前承認なしに、この報告書の一部分だけを複製して用いることは禁止されています。



日本ハイコン株式会社

骨材のアルカリシリカ反応性（化学法）試験結果報告書

岩倉産業株式会社 殿

依頼者申請事項

依頼者 岩倉産業株式会社
住所 広島県三次市布野町下布野 462-3
試験品目 粗骨材
骨材種類 砕石 2005
最大寸法 20 mm
産地 広島県三次市布野町下布野 643-1
岩種 安山岩
試料採取日 2024年5月21日
試料採取場所 岩倉産業株式会社 砕石場 スtockヤード
試料採取 代表試料約 40kg を縮分し、約 20kg とした。

試験結果は次のとおりであることを証明します。

2024年6月4日

広島市西区東津南二丁目十二番十二号
広島地区生コンクリート協同組合 共同試験場
承認署名者・場長 城 國 省

試験依頼日・受領日 2024年5月21日

試験品目 粗骨材

識別番号 24331

受入方法 持込み（持込み者：岩倉産業株式会社）

受入状態 土のう（約 20 kg）×1 袋

試験方法 JIS A 1145：2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）
溶解シリカ量の定量方法 原子吸光光度法

試験期間 2024年5月28日～2024年6月4日

試験場所 試験室

試験結果

項目	1	2	3	平均	判定結果
アルカリ濃度減少量(Rc) mmol/L	55	52	55	54	無害 ✓
溶解シリカ量(Sc) mmol/L	47	46	46	46	

判定基準

- a) 溶解シリカ量(Sc)が 10mmol/L 以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が 700mmol/L 未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を“無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を“無害でない”と判定する。
- b) 溶解シリカ量(Sc)が 10mmol/L 未満でアルカリ濃度減少量(Rc)が 700mmol/L 未満の場合、その骨材を“無害”と判定する。
- c) アルカリ濃度減少量(Rc)が 700mmol/L 以上の場合は判定しない。

承認	品管者	検査部長	担当
	別所		太田

日本ハイコン株式会社

本報告書は依頼された試験品目に対する結果を示すものです。試験結果は受領した試料に適用されます。
当試験場の書面による承認がない限り、本報告書のカラーコピー及び一部のみを複製して使用することを禁じます。



JNLA Z90119JP

試験番号 VE-23-0561追1

受付日 2024年 2月21日

報告日 2024年10月 3日

骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)報告書

大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号
一般財団法人日本建築総合試験所

試験研究センター

センター長

報告書発行責任者

材料試験室長



依頼者	会社名	日本冶金工業 株式会社 大江山製造所	
	所在地	京都府宮津市字須津413	
試験実施期間		2024年3月28日 ~ 同年9月26日	
試験材料	種類*	フェロニッケルスラグ FNS1.2(ナスサンド)	
	産地*	京都府宮津市字須津413	
	採取場所*	日本冶金工業 株式会社 大江山製造所	
	採取日*	2024年2月20日	
	採取者*	宮津海陸運輸 株式会社 坂根 隼	
	工事名*	_____	
備考		2024年2月21日に当センターへ搬入された。	



セメントの全アルカリ	酸化カリウム(K ₂ O): 0.38%、酸化ナトリウム(Na ₂ O): 0.27%、全アルカリ(Na ₂ O _{eq}): 0.52%						
試験方法	「JIS A 1146:2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」とし、相対湿度 95%以上を確保した方法は、吸取紙による被覆とした。モルタルの配合は「JIS A 5011-2:2016 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材 6.4 アルカリシリカ反応性試験」によった。なお、試験は当センター 本部 コンクリート実験室にて行った。						
試験結果	供試体番号	膨張率 (%)					判定
		2週	4週	8週	13週	26週	
	1	0.008	0.011	0.012	0.014	0.024	無 害
	2	0.008	0.012	0.012	0.015	0.023	
	3	0.007	0.009	0.010	0.013	0.027	
	平均膨張率	0.008	0.011	0.011	0.014	0.025	
平均膨張率と材齢の関係を図-1に、試験終了時における供試体の状況を写真-1に示す。							

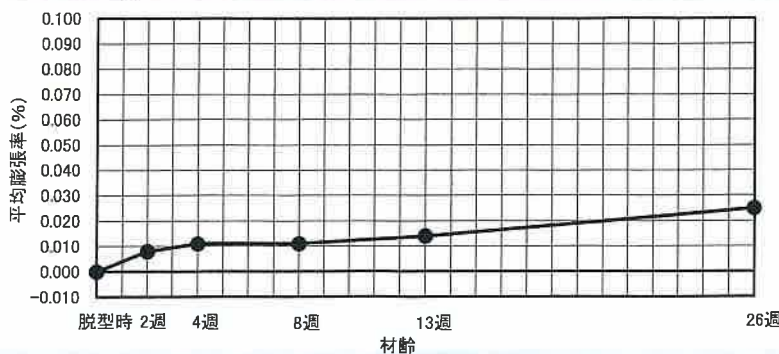


図-1 平均膨張率と材齢の関係



写真-1 供試体の状況(試験終了時)

担 当	材料部 材料試験室	試験責任者	澁井 雄斗	試験担当者	大本 裕樹
-----	-----------	-------	-------	-------	-------

*:試験依頼者の情報による。

2024 年 7 月度 ~ 2024 年 12 月度 ✓

コンクリート用化学混和剤試験結果報告書

(JIS A 6204) ✓

683-0854

鳥取県米子市

彦名町 4 5 0 0

日本ハイコン株式会社

検査(試験)表の確認			
日付	6 年 7 月 10 日		
検査者	太田		
検査結果	合格・否		
日本ハイコン株式会社			
細中			
承認	品質管理	検査課長	担当
別所			太田

花王株式会社
機能材料事業部
東京: 〒131-8501 東京都葛飾区文花 3-3
TEL. 03-5633-7111
大阪: 〒550-0012 大阪市西区立花堀 1-4-1
TEL. 06-6533-7433

093660 - 440124

1. コンクリートの試験結果

日本ハイコン株式会社

項 目		JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値
フレッシュコンクリート	減水率 %	12 以上	14 ✓	14 ✓
	ブリーディング量の比 %	—	—	—
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^2	—	—	—
	凝結時間の差 分	始発 +90 以下	0 ✓	+5 ✓
			0 ✓	0 ✓
	経時変化量	スランプ cm	—	—
			—	—
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢 1 日	—	—
		材齢 2 日 (5℃)	—	—
		材齢 7 日	115 以上	141 ✓
		材齢 28 日	110 以上	131 ✓
	長さ変化比 %	110 以下	90 ✓	—
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		—	—
			—	—

注記 1. 1m^3 当たりの化学混和剤の使用量

形式評価試験 2.07 kg/m^3 , 性能確認試験 2.07 kg/m^3

注記 2. 性能確認試験は 6 か月ごとに 1 回実施し, この表に表示している試験値は, 2024 年 6 月の試験結果である。ただし, 圧縮強度の性能確認試験は 1 年に 1 回実施し, この表に表示している試験値は, 2024 年 6 月の試験結果である。

注記 3. この表に表示している形式評価試験は, 2020 年 6 月 に 花王株式会社 で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン (Cl⁻) 量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 に よる規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中 の含有量	1m^3 当たりの化学 混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン (Cl ⁻) 量	0.02 kg/m^3 以下	0.00 kg/m^3	0.00 %	2.07 kg/m^3	0.00 kg/m^3
全アルカリ量	0.30 kg/m^3 以下	0.02 kg/m^3	0.7 %	2.07 kg/m^3	0.01 kg/m^3

注記 1. 性能確認試験は 6 か月ごとに 1 回実施し, この表に表示している試験値は, 2024 年 6 月の試験結果である。

注記 2. この表に表示している形式評価試験は, 2020 年 6 月 に 花王株式会社 で実施した試験結果である。

3. その他の項目

項 目	規 格 値	試 験 値
密度 (g/cm^3 20℃)	1.030 ~ 1.070 g/cm^3	1.049 g/cm^3

注記. この表に表示している試験値は, 2024 年 6 月 の試験結果である。

塩化物量測定データシート

日本ハイコン株式会社

水の種類：井戸水

砂の種類及び産地：加工砂 島根県仁多郡奥出雲町

コンクリート中の

$$\text{塩化物含有量 (Cl}^{-}\text{)} = \frac{\text{塩素イオン濃度の3本の平均値 (\%)}}{100} \times \text{単位水量 (kg/m}^3\text{)}$$

注: 検出限界以下とは、塩化物イオン量 (Cl⁻) が0.1% (0.178 kg/m³) 以下である。

コンクリート用					
カンタブ の 値 み	塩化物質イオン (%)	カンタブ の 値 み	塩化物質イオン (%)	カンタブ の 値 み	塩化物質イオン (%)
1.6	0.009	3.7	0.063	5.8	0.181
1.7	0.011	3.8	0.066	5.9	0.191
1.8	0.013	3.9	0.068	6.0	0.201
1.9	0.016	4.0	0.074	6.1	0.211
2.0	0.018	4.1	0.079	6.2	0.221
2.1	0.020	4.2	0.085	6.3	0.231
2.2	0.023	4.3	0.090	6.4	0.242
2.3	0.025	4.4	0.096	6.5	0.252
2.4	0.028	4.5	0.101	6.6	0.262
2.5	0.030	4.6	0.106	6.7	0.272
2.6	0.033	4.7	0.112	6.8	0.282
2.7	0.035	4.8	0.117	6.9	0.292
2.8	0.038	4.9	0.123	7.0	0.302
2.9	0.041	5.0	0.128	7.1	0.312
3.0	0.044	5.1	0.134	7.2	0.338
3.1	0.046	5.2	0.139	7.3	0.364
3.2	0.049	5.3	0.145	7.4	0.390
3.3	0.052	5.4	0.150	7.5	0.416
3.4	0.055	5.5	0.156	7.6	0.442
3.5	0.057	5.6	0.161	7.7	0.475
3.6	0.060	5.7	0.171	7.8	0.508

[illegible]